

2024 年度:こども園自己評価の報告書

服部こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	・豊中市の基本理念である「人とつながり生きる力の基礎を培う」の一つとして、園内研究テーマを「一人ひとりの違いを知り合って、思いを表現する力・人とかかわる力を育む～子ども理解から違いを認めあえる力づくりを」とし、一人一人の個性を尊重した教育保育の取り組みを進めていった。 ・一人ひとりの行動や出し方には理由があると考え、取り組んでいき、考えられる理由から必要な対応や時間などを確認していった。
健康支援	・保健師が毎月の身体測定時に幼児クラスで“保健の話”をしている。保健の話が、子ども達の中に浸透してきている。 ・事務所前に体についてのクイズ形式の掲示をしたり、立体的に触れるよう「耳」や「便」などについて展示したりしている。親子で楽しみながら会話をしている。 ・地域事業の0歳児、1歳児のサークルに参加をするなど、地域の保護者が相談をしやすい雰囲気をつくっていった。 ・ほけんだより、玄関掲示などで、感染症についての注意点や季節に合わせた体の作り方など知らせている。
安全指導・危機管理	・危険な場所、遊具の使い方、遊びの約束を年度初めに全職員で確認することで子どもにとって安全な対応を行った。 ・当番制で毎月職員が安全点検、アレルギー対応点検を行い、危険と判断されるところは修繕改善を行った。 ・防災（火災・地震・洪水）・防犯（不審者侵入）の避難訓練を実施。洪水の際は隣のマンションに避難するため、玄関前まで避難訓練を行った。また、避難場所は中豊島小学校なので、中豊島小学校まで避難する訓練も行った。 ・消防訓練では通報訓練や南消防署より水消火器を貸し出してもらい、職員が実際に使用する訓練を行った。 ・南警察署による交通安全指導を行った。
食育の推進	・技能職員とクラスが連携をして、給食食材の下準備の手伝いや菜園活動で収穫した野菜を料理して友達と食べるという食に関わる体験をした。 ・園庭が狭く、限られたスペースの中で、プランター等で工夫しながら菜園活動を行っている。自分たちが育てた野菜ということで食に興味を持てる食育活動につながっている。 ・年長、年中クラスでは日々の給食のご飯炊きを米洗いから行っている。 ・厨房前にメニューと給食の中に入っている食材をクイズで出している
子育て支援（在園児および地域）	・日常の会話や様子から、子育てや家庭の悩みや不安などを感じ取り職員から言葉かけをしていき、時には面談をもった。 ・地域支援員と連携をし、地域と各クラスがびよびよ、わんわん等で年齢別交流を深めてきた。在園児は交流する中で、褒められることで自信につながっていった。また地域の方にも子どもの成長していく姿やこども園のよさを実感していただけた。次年度も子どもの現状からクラスがねらいを持ち、交流を考えていく。 ・1・2歳の育ちの講座で、クラスの子どもの姿を通して年齢の特徴や子どもは一人一人違うという話を担任が行った。具体的な子どもの姿を伝えることや親同士が話をする中で、保護者の安心につながった。 ・技能職員は離乳食講座や、おやつ講座などの食育を通して質問や相談を受け地域と関わった。

インクルーシブ教育保育	・様々な特性を持つ子ども達と、二人組やグループでお互いを意識してけるような遊びや活動を取り入れていき、“誘われて嬉しい”“きてくれて嬉しい”をお互いに感じられるように取り組んでいる。
職員の資質の向上	・公開保育でガイドラインをつかってクラスの状況や今後の方向等確認している。 ・自己評価表ではそれぞれが自己課題に気づけるように進めている。 ・アドバイザー派遣研修では、外部講師から「子ども達がそれぞれ違いを認め合い自分の思いを表現する力を育む力」を作る為に子どもの見方を学ぶ。
幼保こ小中の連携・接続	・幼保こ小校区連絡会を通して、情報交換を行った。また、支援を要する子どもの様子を就学先の小学校と情報共有し、必要な手だてについて連携を図った。 ・昨年度再開した体験入学に小学校に出向き交流を行い、子どもたちの就学への期待へとつなげていった。
評議員会	・年3回行っている。中豊島と緑地校区から来てもらっている。 ・園の概要や昨年、行事や交流を再開した後の子ども達の様子などを伝え、公開保育やつくってあそぼう月間の各クラスの遊びを見てもらい、それぞれの立場からの話を聞いて意見交流した。
その他	保護者に、どうすればわかりやすく子どもの姿や育っていく姿を伝えることができるか、具体的実践が課題となっている。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
幼保こ小中の連携・接続 ＊園同士のつながりも含む	小学校との連携が幼保こ小だけになってしまっているので、入学間際だけでなく交流できるようにしていきたい。
職員の資質の向上	子どもの行動に振り回されたり子どもの行動を否定したりするのではなく、その行動はどこから来るのかなどの見方と、肯定的な言葉がけを心がけていきたい。 人に伝わる伝え方等を知り、保護者対応に取り組みたい。

令和7年（2025年）3月31日

豊中市立 服部こども園

園長名 吉田 百合香